

県内の地域伝統作物の来歴、特性、活用方法

「宮崎の地域伝統作物」のカタログを作成

背景・目的

- 県内各地で代々受け継がれてきた地域伝統作物は、消費者ニーズの多様化や食育の推進等により見直されるようになりましたが、生産者は減少を続けており生産量が減少しているだけでなく、貴重な遺伝資源そのものが失われつつあります。
- そこで、薬草・地域作物センターでは、これらの遺伝資源を保存すると共に、一般消費者の方々にも広く知っていただくために、来歴や特性、これまでの試験成果等を取りまとめたカタログを作成し、県のホームページで公開しました。

成果の内容

- 県内の地域伝統作物のうち29品目を調査し、これまで研究してきた栽培技術や調理方法等の成果と併せて掲載しています。

表1 掲載品目一覧

| | | | | |
|---------|---------|--------|----------|--------|
| 地アズキ | 在来トウガラシ | アカトウマメ | 大晩生フダンソウ | ラッカセイ |
| 糸巻きダイコン | 地トウキビ | 在来アワ | 鶴首カボチャ | レンコン |
| イラカブ | フロマメ | 地キュウリ | 在来白皮ニガウリ | 赤江ニンジン |
| クマナ | 平家カブ | 黒皮カボチャ | ハナマメ | 在来インゲン |
| 佐土原ナス | 平家ダイコン | 在来ゴマ | 在来ヒエ | ハリカブ |
| 白ナス | ムカシタカナ | ジナ | 扁平カボチャ | |



図1 カタログのサンプル



図2 ホームページのアドレス

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 一般県民の方に、県内の地域伝統作物のPRを行う際に活用できます。
- 地域活性化のイベントや学校教育等における活動の場において、地域伝統作物について学ぶための資料として活用できます。

留意点

- 掲載されている作物の種子等は、一部を除き、薬草・地域作物センターで保管していますので、要望があれば提供できます。

関連研究成果カード：2024年度整理番号46、関連事業名：「地域伝統作物の保全と新たな利用方法の開発」(県単)

研究期間：2019～2023年度